



メディアリテラシーを 自ら身につけるには！？

今回の調査のきっかけ

災害時など混乱した場面では、さまざまな情報があふれている。その中で、適切に情報を判断するためにはどのような視点が必要か。緊急時でも情報を適切に判断するためには普段から精査された情報に触れ、リテラシーを高めておくことが大切だと考えたこと。

調査をするにあたって行ったこと

- ・情報の正誤を判断するクイズをメンバーで行った。
- ・毎日新聞(紙媒体)と、X(旧Twitter)の17日から24日のイランとイスラエルの紛争について書いてある記事と投稿を比べて、どんな違いがあるのかを調べた。
- ・違いから情報の正誤を判断するにはどこに注目すればいいのかを考察した。

クイズから得られたこと

これまでの自分たちの判断基準

- ・論理的でない個人の主観的判断。
- ・画像の違和感や印象による判断。
- ・今までの経験をもとにした判断。



※画像はイメージ

クイズ制作時に考えたこと

- ・人を騙せるニュースはどのようなものか。
- ・画像がある方が騙されるのではないか

新聞とXとの比較から得られたこと

- ・新聞は5W1Hがしっかり入っている。誰が記事を書いたかよくわかる。フィルターバブルが起こらない工夫がされている。
- ・Xは5W1Hがすべてそろっていないことがある。匿名性が高く誰が投稿したかわからない。情報がたくさんあるが、信用できる情報だけとは限らない。フィルターバブルやエコーチェンバーが起こる可能性がある。

情報の正誤を判断するためにはどこに注目すればいいのか

- ・画像だけでなく文章に目を向ける。
 - ➡画像は印象が強すぎるから。
- ・5W1Hの観点。
- ・論理的に考える。
- ・信頼できるメディアと相互検証をすることが好ましい。

考察、まとめ

- ・適切な情報かどうかを判断する基準が、今までの経験や知識をもとにしているのならば、その経験や知識をより質の良いものにすることが必要不可欠だ。そのためには、様々なメディアの情報に触れ、各メディアの特性を知ること。また、普段から信頼度の高い情報に触れることや、状況に応じたメディアの選択をする経験を積む必要がある。
- ・情報を自分の知識や経験によって「正しく」判断しようとすることはリスクを伴うが、それをしようとする中で、知識欲求や論理的な思考力を高めることができる。それによって、より良い情報に出会える機会が増えるのではないかな。